八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 09 2023

「夏を乗り切った！」号

長かったようで短かかった夏休みも終わりましたね。皆さんの夏休みの思い出はなんですか？八丈島では台風７号がやってくるまで、雨があまり降らなかったので海水浴場は島っ子達で賑わっていました。

また、転出していった懐かしい友人が偶然ビジターセンターに遊びに来てくれ嬉しい再会があるのも島の夏の醍醐味です。元島っ子達がわざわざ訪ねて来てくれることもあり、その成長ぶりを見るのが楽しみでもあります。

さて、今月は夏の特別行事の様子を行事担当スタッフに紹介してもらいました。（M.K.）

探検！夜の植物公園編

★夜の昆虫観察会　7月２８日開催

５組１７名参加で、今年も無事に晴れて賑やかな開催となりました。施設内で行った作戦会議で、昆虫の定義や観察中に出会う可能性のある危険な生き物を確認してから出掛けました。子供達から積極的な挙手もあり正解連発で、こちらが驚かされました。

出発後、見つかる昆虫がサツマゴキブリばかりで、子供達は最初拒否反応を示していましたが、腹を括ったのか次第に虫かごに採取し始めました。ハチジョウコクワガタを採取して喜んでいた子供＆保護者と、背中に何かの虫が入って矯声を上げていた子供との対照的な姿が印象に残りました。ライトトラップをみんなで観察した時、付着する虫を見て子供達からは「カナブン！」との声が上がっていましたが、実は多くはアオドウガネでした。

最後に採取した昆虫を皆で発表・開放して終了。(R.T.)

★植物公園ナイトウォーク　7/30・8/6・20

初めて企画した行事でしたが、毎回大勢の方に参加いただきました。またこの間、皆さんのご協力により怪我なく安全に開催できました。有難うございました。

お天気も雨に降られることなく、一回目は ISS も見ることができました。もちろん、毎回夏の大三角形も観望でき、さそり座、射手座、いるか座、カシオペア座、天の川なども観望しました。

ライトトラップでは寄ってきた虫を観察しました。夜の昆虫観察会同様、来たのはほぼアオドウガネでした。

以前、光るキノコ観察会を開催していた場所でヤコウタケとエナシラッシタケを観察したり、写真を撮ったり。その幻想的な光の美しさに目を奪われました。

夜の公園を歩くのはドキドキワクワクでしたね。また機会があったら、夜の公園で遊びましょー！（M.K.）

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

暑かったけど、昼間の行事編！

★潮だまり探検隊　　8月２日開催

台風の影響で開催できるのか心配されましたが、前日の海況を確認して開催を決定。島民、観光の方 17 名が参加されました。

諸注意、危険な生き物の案内を聞き、すぐに生き物を探しに三々五々潮だまりに出かけて行きました。

「これに触っても大丈夫？」「なんか変なのがいる」とあちこちで歓声や笑い声が上がりスタッフも大忙し！

時間一杯生き物を探し回って、それぞれが採集した生き物をみんなで観察します。

魚類、エビ・カニ類、その他…と水槽に移しながら分類をしていきました。一番多かったのはスベスベサンゴヤドカリ。他にもヒョウモンヒラムシ、珍しいコブヒトデなどの姿もありました。ゴンズイが固まって泳ぐ、稚魚ゴンズイ玉も見られ、それらは VC の水槽へ。(N.I.)

★海のモビールを作ろう　　８月２０日開催

毎年､解説員が試行錯誤しながら生み出す夏休み行事。今回は漂流物や資源ごみであるペットボトルに目を向けた内容でした。ペットボトルで作るクラゲは、足の部分をロウソクの火で炙りながら作りました。

低学年の参加が多かったので保護者同伴でしたが、保護者の方々にお手伝いいただいたのは、火を使う作業と組み立てたクラゲや漂流物に紐を付けて、バランスを見ながら紐の長さを調整して取り付ける作業だけでした。

火傷などの怪我もなく、子供達の力で作り上げたモビールは、どれもそれぞれの個性があり、素敵な作品が出来上がりました。

最後に完成した作品とともに、写真撮影をする時の子供達の顔はみんな笑顔で、誇らし気な顔をしていたのが印象的でした。(R.O.)

★サンドキャンドルを作ろう　８月２８日開催

夏休み終盤、２回目の子供クラフト教室は湿らせた砂を掘ってその側面にサンゴや貝などを埋め込み、溶かしたロウを流し込んで作るサンドキャンドルです。

小学校低学年から高学年まで、参加してくれた子供たちは夏休みを楽しんだようで元気いっぱいでした。熱湯を沸かして湯煎で缶の中に入れたロウを溶かします。火を使うので充分に注意を払いながら、さらに保護者の方々の協力もあって作業を進めることができました。

ロウを固めている間、木や木の実などを使ったネイチャークラフトもしてもらいました。

子供達の真剣に素材を選ぶ表情、砂からキャンドルを掘りあげる時のワクワクした表情が心に残ります。来年も楽しい行事を企画できたらと思っています。皆さん是非参加してください！（A.G.）

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、台風７号の接近により中止となってしまったので、今月は職員のみで調査を行いました。ツルボやヤハズソウ、ウリクサなど初秋を感じさせる植物が少しずつ目に付くようになってきました。

今回はシダ植物２０種を含む９２種の植物を観察しました。

八丈植物公園季節調査（2023 年度第５回 ８月 28 日（日）、天気：晴れ、気温：29.2°C）調査者：VC 木下

1	ヤブニッケイ	ヤブニッケイもち病菌（枯残）、葉の虫こぶ目立つ、若い実
2	タコノキ	葉、 気根の長さ：20.5 ㎝、 太さ：１２㎝、雌木には若い実
3	オオタニワタリ	新芽２８本 (内１枚葉先が折れる)、最少丈１１８㎝、古葉、中央にスズミグモが巣を張る
4	ニオイウツギ	葉
5	ニオイバンマツリ	葉、花
6	オオシマザクラ	葉は色が変わり始める、枯れ枝目立つ（リンゴカミキリの食害か）

7	アオノクマタタケラン	若い実	38	シマススズメノヒエ	花	65	ヤハズソウ	花
8	アカメガシワ	実	39	シマナガバヤブマオ	花	66	ヤブカラシ	花
9	アシタバ	花	40	シロダモ	花芽	67	ヤブツバキ	花
10	アメリカイヌホオズキ	花	41	シロツメクサ	花	68	ヤマアジサイ	若い実
11	アメリカスズメノヒエ	実	42	スイカズラ	若い実	69	ヤマイ	花
12	イタビカズラ	実	43	スベリヒユ	花、実	70	ラセイタソウ	蕾
13	イヌタデ	花	44	タケダグサ	実、花			
14	イワニガナ	花、実	45	ツルボ	蕾			
15	ウスベニニガナ	花、実	46	テリハノブドウ	色彩豊かな実		シダ植物	
16	ウリクサ	花	47	テンツキ	花	1	アマクサシダ	
17	オオバコ	花	48	トベラ	若い実	2	アラゲヒメワラビ	
18	オオバヤシャブシ	実	49	ナガエコミカンソウ	実	3	ウチワゴケ	
19	オオムラサキシキブ	若い実	50	ニガカシュウ	ムカゴ	4	オオイタチシダ	
20	オニタビラコ	花、実	51	ノシラン	花	5	オニヤブソテツ	
21	オヒシバ	花	52	ハイビスカス	花	6	カニクサ	
22	ガクアジサイ	実、花	53	ハゼノキ	若い実、残実	7	シケシダ	
23	ガザニア	花	54	ハチジョウキブシ	若い実	8	シチトウハナワラビ	
24	カヤツリグサ	花	55	ハチジョウシュスラン	蕾	9	タチクラマゴケ	
25	カラムシソウ	蕾	56	ハマオモト	若い実	10	タチシノブ	
26	キツネノマゴ	花	57	ヒナギキョウ	花	11	タマシダ	
27	キフゲットウ	実	58	ヒメクグ	花	12	トラノオシダ	
28	キョウチクトウ	花	59	ヒメユズリハ	若い実	13	ナチシケシダ	
29	クルマバザクロソウ	花、実	60	ビロウヤシ	花、若い実	14	ノキシノブ	
30	クロツグ	実	61	ブーゲンビリア	花	15	ハチジョウカナワラビ	
31	クワズイモ	若い実	62	フウトウカズラ	若い実	16	ハチジョウシダ	
32	コニシキソウ	花	63	ヘクソカズラ	花、蕾	17	ヒトツバ	
33	コミカンソウ	若い実	64	ポーチュラカ	花	18	ヘラシダ	
34	サルスベリ	花	65	マルバデイゴ	花	19	ホシダ	
35	シチトウエビヅル	花、若い実	66	ミツバ	実	20	ホラシノブ	
36	シチトウスミレ	閉鎖花	63	ムクゲ	花	21	マメヅタ	
37	シマクサギ	花、蕾	64	メヒシバ	花、実	22	ヤマイタチシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、潮だまり探検隊でも見つかった「ゴンズイ」にスポットを当ててみたいと思います。

ゴンズイの一種　　***Plotosus* sp.**

ゴンズイ科ゴンズイ属、2008 年にミナミゴンズイ（*Plotosus lineatus*）とゴンズイ（*Euscaphis japonica*）に分けられています。画像からの明確な種分けができないため、ここでは一種としています。

どちらの種も背びれと胸びれには毒棘があるので注意が必要です。フェロモンを出し、固まって泳ぐ様子を「ゴンズイ玉」と呼びます。八丈島では釣れることもあるのでご注意ください。(H.T.)

2023 9

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1 05:25 18:31 11:58	2 ガイドウォーク 06:15 18:55 00:13 12:33
3 ガイドウォーク 07:03 19:16 00:50 13:05	4 07:53 19:35 01:29 13:33	5 08:46 19:53 02:10 13:57	6 09:54 20:11 02:57 14:14	◑ 7 12:05 20:30 03:57 14:07	白露 8 20:43 05:20	9 ガイドウォーク 16:05 07:00 21:23
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 00:34 16:14 08:19 21:41	11 02:12 16:31 09:10 22:02	12 03:07 16:48 09:49 22:23	13 03:48 17:04 10:21 22:44	14 04:25 17:21 10:50 23:07	● 15 05:00 17:38 11:18 23:31	16 ガイドウォーク 05:34 17:56 11:45 23:56
17 ガイドウォーク 06:09 18:15 12:12	18 ガイドウォーク 06:45 18:34 00:24 12:38	19 07:23 18:54 00:53 13:04	20 08:06 19:14 01:26 13:30	21 09:00 19:35 02:05 13:57	22 10:26 19:58 02:55 14:24	◐ 秋分 23 ガイドウォーク 八丈学講座 「大人クラフト ・草木染めを楽しもう」 20:27 04:09
24 ガイドウォーク 15:03 22:52 05:56 20:06	25 15:33 07:37 21:00	26 01:31 16:01 08:45 21:33	27 02:47 16:27 09:36 22:06	28 03:46 16:53 10:19 22:39	○ 29 04:37 17:17 10:57 23:12	30 ガイドウォーク 05:26 17:40 11:32 23:46

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ ９／10　（13：30～　約１時間半） 中学生以上　ビジターセンター集合・解散　参加費：無料　定員：10名
八丈学講座　大人クラフト 「草木染めを楽しもう」	特定外来生物のオオキンケイギクの花を使って絞り染めをします。外来種問題を考えましょう！ ９／23　（13：30～　約１時間半） 中学生以上　ビジターセンター集合・解散　参加費：無料　定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約１時間）　だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散　無料　定員：10名

ビデオプログラム

10：00～	八丈・海・生きものたち
11：00～	おじゃりやれ 八丈島
14：00～	おじゃりやれ 八丈島
15：00～	おじゃりやれ 八丈島
16：00～	八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター　2023.9.1　第268号

開館時間　９：００～１６：４５　年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811　Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

立秋を過ぎてもまだまだ夏の気配が色濃く残り、厳しい残暑が続いてバテ気味のこの頃ですが、早くも秋の渡りのトップバッター、シギ・チドリの仲間の飛来が確認され始めています。さてさて、今季はどんな渡り鳥に出会えるのか楽しみです。　(M.K.)